

「島田ゆりかご保育所」が向谷二丁目に開所

☎保育支援課 36・7195

10月2日、向谷二丁目「島田ゆりかご保育所」が開所し、関係者や地域住民約60人が出席して開所式が行われました。

社会福祉法人嬰育会（焼津市）が運営する同保育所の定員は72人。市営住宅跡地に整備された園舎は、県産材のスギやヒノキを使用した木造2階建てで、家庭的なぬくもりを感じられる空間作りがされています。この日は続けて入所式も開かれ、乳幼児32人が入所しました。



入所式であいさつする奥川むつみ所長

防災を楽しく学ぶ「防災チャレンジ大運動会」開催

☎危機管理課 36・7143

体を動かしながら防災を学ぶ「防災チャレンジ大運動会」が、10月15日にローズアリーナで開かれました。

市では、子どもたちに楽しみながら防災への意識を高めてもらおうと、静岡市消防局と自衛隊の協力を得て本大会を実施。参加した小学生46人は、消防士の指導を受けて、AEDの取り扱いや簡易担架作りにも挑戦しました。その後2チームに分かれ、「簡易担架を作って搬送リレー」や「土のうの積み上げ競争」、「水バケツリレー」などで競い合いながら、



簡易担架を作って搬送リレーを実施

災害時に役立つ知識を身に付けていました。

弾道ミサイル飛来を想定した住民避難訓練を実施

☎危機管理課 36・7320

10月24日、国と県および市は、弾道ミサイルの飛来を想定した住民避難訓練を、宝来町と大井川鐵道家山駅周辺で実施し、関係者や地域住民約250人が参加しました。

訓練では、市内全域に全国瞬時警報システム（Jアラート）によるサイレンを吹鳴後、ミサイル発射情報を放送。情報を聞いた宝来町周辺の住民は、アピタ島田店内へ避難し、身を伏せて頭部を守るなど、有事の際に命を守る行動を確認しました。また大井川鐵道では、緊急情報を受信後、運行中の車両への情報伝達



買い物カゴなどで頭部を守る避難者

を実施。乗客へアナウンスするにとともに車両を緊急停止させ、乗客の安全確保手順などを確認しました。

県指定文化財医王寺薬師堂が完成

☎文化課 36・7967

県指定文化財の医王寺薬師堂（金谷古横町）の保存修理工事が完了し、記念式典が10月8日に開かれました。

本工事は、建物の老朽化に伴い、平成27年10月から全解体修理を実施。雲龍や天女が描かれた天井画（県指定文化財）の保存修理も、併せて行われていました。

この日は一般見学会も開かれ、訪れた見学者は、修復された天井画の迫力に見入っていました。



天井画「雲龍図」を見上げる見学者たち

クールチョイスな「くらし・消費・環境展」を開催

◎環境課 ☎36・7145

10月7日、市内外の環境・消費者団体などが一同に会する「くらし・消費・環境展2017」が、プラザおおるりなどで開催されました。同展は、再エネ・省資源・食・防犯など、くらしに役立つ情報を提供するイベントで、今年で39回目となります。

来場者は、展示や実演、製作体験などを通して、さまざまな「クールチョイス」(今日から実践できる、人と地球に優しく賢い取り組み)に関心を寄せていました。



自分なりの「エコ生活」を宣言する来場者

市内企業からの寄付金により高規格救急車を配備

◎財政課 ☎36・7123

このたび、サンエムパッケージ(大代)からの寄付金により、高規格救急車が静岡市消防局島田消防署金谷出張所に配備されました。

今回、同社の創立50周年記念事業として、市へ3000万円の寄付の申し出があり、協議により更新予定の車両の購入費に充てられました。

10月30日、救急車のお披露目が行われ、三宅馨代表取締役社長は「地元のためにできることを考え、若手社員が発案した。今後も地域に貢献していきたい」とあいさつしました。



サンエムパッケージ社員の皆さん

モンゴル国ナラン外国語学校友好親善使節が来島

◎地域づくり課 ☎36・7390

島田第一中学校と姉妹校提携を結んでいる、モンゴル国ウランバートル市の「ナラン外国語学校」の友好親善使節7人が来島しました。

11月1日には、染谷市長を表敬訪問。島田市の感想を「緑豊かで見えが無く、自然あふれる風景に驚いた」などと、目を輝かせながら語ってくれました。その後、日本への親しみを込め、7人全員で日本語の歌を披露してくれました。

使節は、10月20日から11月11日まで滞在し、市内中学校に通いながら、日本文化などを体験しました。



日本の歌を披露する友好親善使節たち

生涯スポーツ優良団体表彰 受賞を報告

◎スポーツ振興課 ☎36・7219

島田第三サッカースポーツ少年団が、生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣から表彰され、10月18日に萬屋副市長を表敬訪問しました。

同少年団は、40年以上にわたりサッカーを通じて子どもたちの健全育成に取り組み、リーグの育成にも力を入れています。森下哲也代表は「子どもたちには、サッカーの技術だけでなく、いろいろな事を学んでほしい」と語りました。



まつうらまさゆき 松浦雅之本部長(中左)と森下代表(中右)